

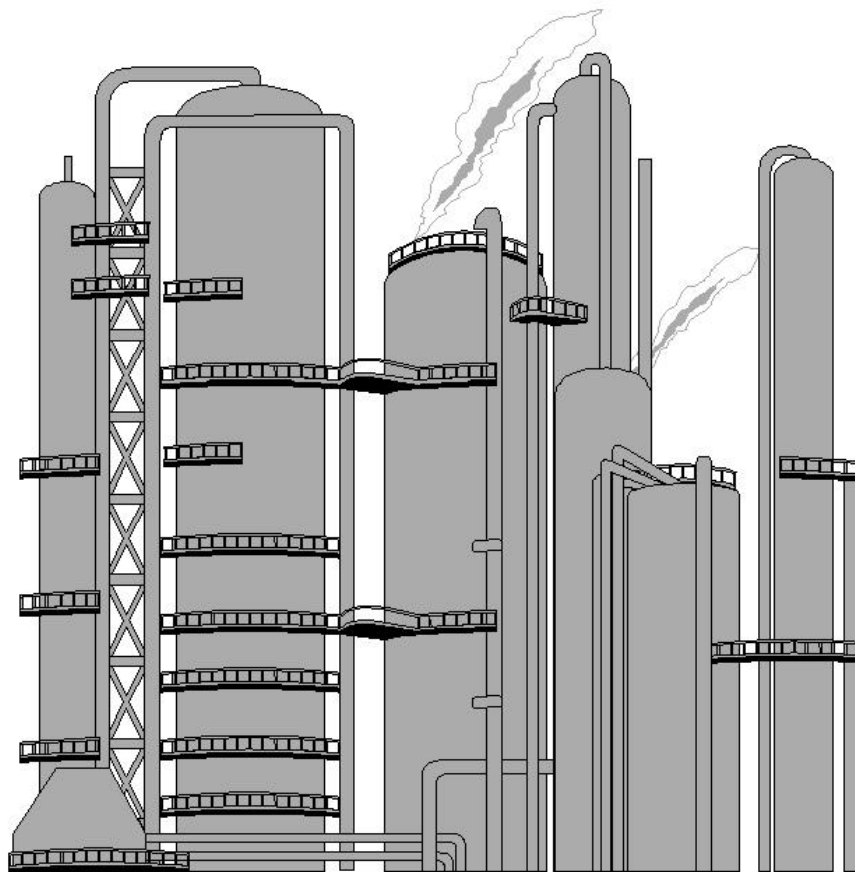
INTERGRAPH

# Report Format File Editor

## User's Guide

---

Jul -1999 Rev1



**MUTOH**

武藤工業株式会社  
インターグラフ営業部

# Format File Editor for MTO Reporting

## はじめに

フォーマット・ファイル・エディタは、MTO レポート・フォーマット・ファイルの作成や編集する目的で開発されました。このユーティリティのユニークな特徴は、操作性に優れたグラフィック・インタフェースを提供していることです。図 1 を、参照してください。GUI によって、インデックスやデータ・タイプを調べるための Report Manager Reference Guide は、必要ではなくなりました。

このユーティリティによって、MTO レポートフォーマットファイルの作成時間が大幅に短縮されます。

このユーティリティは、レポートのグラフィック・レイアウトを提供します。このように、フォーマット・ファイルによって作成される最終的なレポートが、どのようにレイアウトされるかを視覚的に確認することができます。GUI は、66 列/132 行で構成され、再下段にはカレントの列 / 行のインデックスが表示されます。アプリケーションのコア機能は、レイアウト・ウィンドウ内でフィールドをドラッグ & ドロップ可能なことです。また、テキストエディタを使用して作成したレポートフォーマットファイルを、このレイアウト・ウィンドウ内にドラッグ & ドロップすることも可能です。

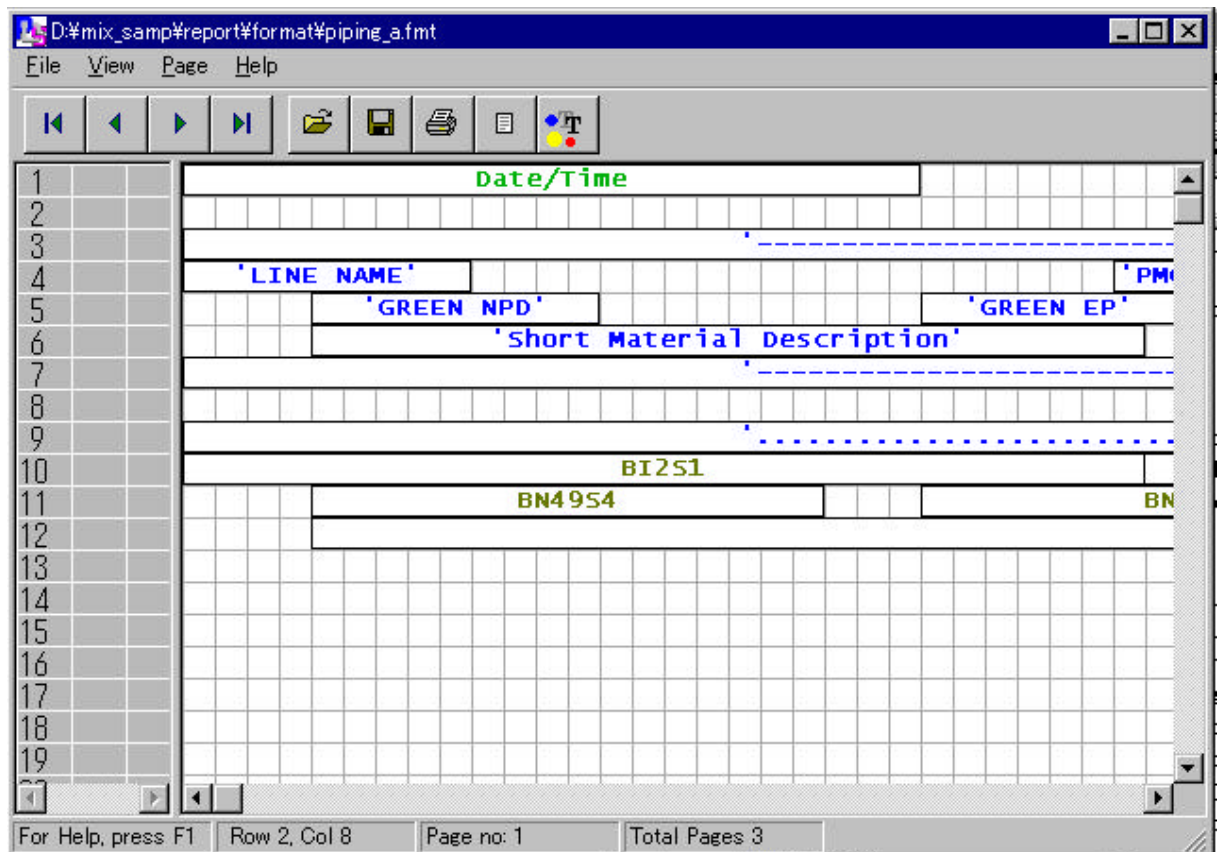


図 1 - フォーマットファイル・エディタの GUI

## セットアップ

このユーティリティのセットアップは、非常に簡単です。MainFmt.exe、ownd.dll、そして pdreport1.txt の3つのファイルを、同じディレクトリにコピーします。プログラムの実行ファイル MainFmt.exe を起動すると、ユーザ・インターフェースが表示されます。

## GUI 機能

グラフィカルなユーザ・インターフェースには、File、View、Page の3つのメニューと Help が用意されています。

用意されているこれらのメニューから、以下の機能を使用することができます。

- File には、New、Open、Save、Save as、Print preview、Print Set up、Print format file そして Exit の8つの機能があります。
- View には、Source、Format そして Report type の3つの機能があります。  
Source は、テキストフォーム内にフォーマットファイルを表示する場合に使用します。  
Format は、色、フォントタイプ、そしてフォントサイズを設定する場合に使用します。  
Report type は、レポートタイプを設定する場合に使用します。たとえば、レポートタイプ 689 は、Piping Component MTO Report です。
- Page は、Insert a Page Before、Insert a Page After This Page、Delete This Page、First Page、Page n、Last Page の6つの機能があります。この機能を使用して、ページの挿入 / 削除、あるいは他のページへの移動が行えます。
- Help は、このソフトウェアの情報が表示されます。

すべてのフィールドは、フィールドの定義名あるいはインデックス名を表示したボックスで表示されています。図2を、参照してください。このボックスの長さは、レポートを作成した際のフィールド長に対応していて、マウスの右ボタンを使用してボックスの長さを調節することができます。このボックスをダブル・クリックすると、Field Properties ウィンドウが表示されます。この Field Properties ウィンドウを使用して、カレントのインデックスのフィールド長、データタイプ、フィールドタイプ、あるいはその他の属性を修正することができます。

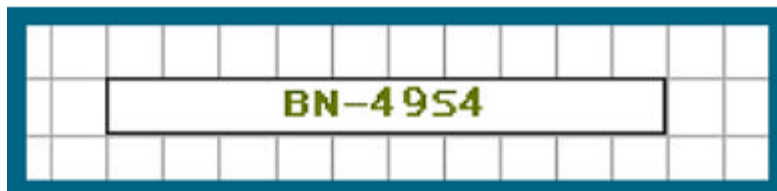











図2 - フィールド定義ボックス

9つのボタンが、ツールバーに用意されています。図3を、参照してください。



図3 - ツールバー ボタン

	最初のページへ移動する場合に使用します。
	前のページへ移動する場合に使用します。
	次のページへ移動する場合に使用します。
	最後のページへ移動する場合に使用します。
	既存のファイルを開く場合に使います。
	カレントのファイルを保存する場合に使います。
	フォーマットファイルを印刷する場合に使います。
	テキストフォーム内にフォーマットファイルを表示する場合に使います。
	フォントの色やサイズを変更する場合に使います。

GUIの左側は、列番号1～66を表示しています。図4を、参照してください。

4			
5			
6			
7	G	▶	BI 3G1
7	G		BB3G1
7	G		B*I3G1
7	G		BT24G1
7	G		BX26G1
7	G		B*S3G1
8			

図4 - 列番号が表示される GUI の左側部分

図4では、いくつかの列が同じ番号であることに注意してください。これらは、1つのロジカル列を含むフィジカル列です。ロジカル列は、複数のフィジカル列に分割することができます。この機能は、フィールドのオーバーラップが発生したときに有効です。フィジカル列を挿入するために、カーソルをGUIの左側へ移動し、マウスの右ボタンを選択します。表示されるリストから、カレントの列の前に挿入する場合は Insert Physical Row Before This Row を、カレントの列の後ろに挿入する場合は Insert Physical Row

After This Row を選択します。さらに、いくつかの異なるタイプのボタンが、図 4 では示されています。これらのボタンの機能は、以下のようになります。



このボタンは、追加コントロールをオンにする場合に使用します。追加コントロールを ON にするために、マウスをカレントの列の左側へ移動し右ボタンを選択します。表示されているリストから、Set Appending ON を選択します。これは、field\_function ナンバー7 に似ています。



このボタンは、追加コントロールをオフにする場合に使用します。追加コントロールを OFF にするために、マウスをカレントの列の左側へ移動し右ボタンを選択します。表示されているリストから、Set Appending OFF を選択します。これは、field\_function ナンバー8 に似ています。



このボタンは、アウトプット・フィールドのループを開始する場合に使用します。アウトプットフィールド・ループを開始するために、マウスをカレントの列の左側へ移動し右ボタンを選択します。表示されているリストから、Start Output Field Loop を選択します。これは、field\_function9 に似ています。



このボタンは、アウトプット・フィールドのループを終了する場合に使用します。アウトプットフィールド・ループを終了するために、マウスをカレントの列の左側へ移動し右ボタンを選択します。表示されているリストから、End Output Field Loop を選択します。これは、field\_function ナンバー10 に似ています。

マウスの右ボタンを選択し、Edit オプションを選択することによって、フィールドのコピー、カット、貼り付けを行うことができます。

図 5 は、Field Properties フォームを示しています。このフォームは、フィールドのボックスをダブル・クリックすると表示されます。このフォームで、フィールド・ファンクション、フィールド長、フィールド・タイプ、データ・タイプ、1 ページの列数、そしてとこれらの列間の間隔を設定することができます。Field Definition ボタンを選択すると、フィールド定義のドロップ・ダウン・リストが表示されます。表示されているリストから、レポートする項目を選択することができます。図 6 を、参照してください。フォーマット・ファイル・エディタによって、レポートに必要なインデックスを設定するために PD\_Report のドキュメントを参照することなく、レポート・フォーマットを編集することができます。

## 例:

例として、ボルトの総重量をフィールド長が 5、配置位置が 13 列 50 行のフォーマット・ラインを設定しま

す。

これらのステップを、以下に示します。

1. 2 ページへ移動します。
2. GUI の再下段に表示される列 (Row)、行 (Column) を参照しながら、マウスを 13 列 50 行へ移動します。
3. マウスの右ボタンを選択します。
4. 表示されているリストから、Page Field > Output Field を選択します。指定した位置に、フィールドのボックスが表示されます。
5. このボックスをダブル・クリックすると、Field Properties ウィンドウが表示されます。このフォームでは、アウトプット・フィールドの Field Function のデフォルト値は、4 です。

図 5 - Field Properties フォーム

6. フィールド長の値を、5 に設定します。出力結果を前詰めにする場合には、'Truncate Field' ボタンを選択します。
7. Field Definition ボタンを選択すると、アウトプット・フィールドのリストが表示されます。
8. リストから、Bolts>Bolts>Total Bolt Weight(weight of nuts, bolts, washers, etc.)を選択します。プ

プログラムは、Field Definition ボタンの右のテキスト・ボックス内に、自動的にインデックス BX22 を配置します。

9. ページごとの列数 (Rows/Page) と列間のスペース (Spacing) を設定します。例えば、1 ページに 45 列、3 列間隔の場合には、列数 (Rows/Page) が 45、列間のスペース (Spacing) が 3 になります。
10. OK を選択すると、Field Properties ウィンドウを終了します。プログラムは、定義されたフィールド長にフィールドのボックスを自動的に調節し、ボックス上にボルトの総重量のインデックスを表示します。
11. 設定したフォーマット・ファイルを参照するために、View メニューの Source を選択します。設定したフィールドは、4,13,50,-5, 5 ,2,BX22,45,3 で定義されています。

Field Definition ボタンをマウスの左ボタンで選択すると、フィールド定義のリストがポップアップ表示されます。図 6 を、参照してください。表示されているリストから、レポートへ出力する適切なインデックスを選択することができます。レポート内でハードコードされたテキスト・エントリを作成するために、Field Definition ボタン右のテキスト・ボックスへ、実際のテキストを入力しなければなりません。このテキストは、シングルクォート(')で囲み、そして Field Type を 1 に設定しなければなりません。

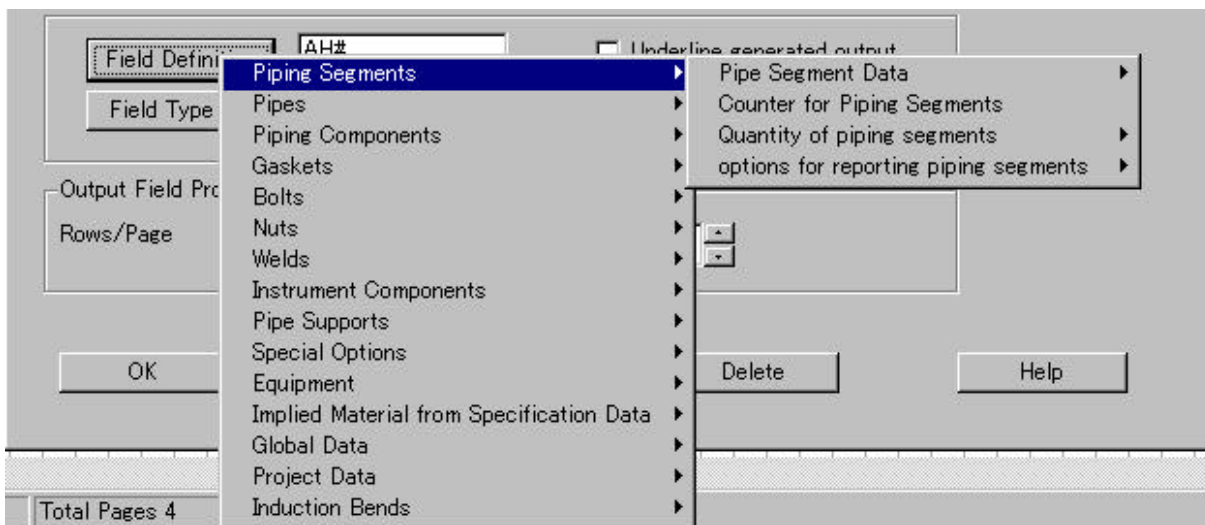


図 6 - Field Definition ボタンの操作